

会議の概要

令和5年度 第1回

おおたま学園コミュニティ・スクール委員会 (兼大玉村地域学校協働本部 第1回地域教育協議会)

- 大山幼稚園学校運営協議会 ○ 玉井幼稚園学校運営協議会
- 大山小学校学校運営協議会 ○ 玉井小学校学校運営協議会
- 大玉中学校学校運営協議会

日 時：令和5年5月10日（火）18:30～20:30

場 所：全体協議：1階多目的ホール

グループ協議：幼稚園：1階多目的ホール、大山小：2階農事相談室

玉井小：2階農事研修室、大玉中：1階健康相談室

進行…事務局（指導主事 渡邊 博樹）

1 開会の言葉

進行

それでは、只今から第1回おおたま学園コミュニティ・スクール委員会（以下CS委員会と略記）を始めたいと思います。皆さまよろしくお願ひします。

2 委員の任命・委嘱状の交付

大玉村教育委員会教育長 渡辺 敏弘

・新たに任命された委員の代表受領

大山小推薦

矢吹吉信 氏

・学校関係者委嘱状代表受領

〃

矢吹吉信 氏

・地域学校協働本部地域教育協議会委員代表受領

〃

矢吹吉信 氏

3 教育長あいさつ

大玉村教育委員会教育長 渡辺 敏弘

みなさん、こんばんは。本日は令和5年度第1回おおたま学園CS委員会並びに地域教育協議会にお集まりいただきましてありがとうございます。只今代表受領という形で任命書、委嘱状を交付させていただきました。今年度からの2年間の任期お世話になりたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

昨年度からCS委員と地域教協議会委員を兼ねてお願いすることにしておりまして、これは学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的な推進をさらに強めていこうという意図のもとですので、ご理解いただきたいと思ひます。

「夢を育てる教育 大玉に学び世界とつながる人間の育成～みんなで支え、みんなで育て、みんなが育つ～」という大玉の教育実現のために、熟議と実行の両面でご尽力くださいますようお願ひいたします。委員のみなさん、それぞれのお立場や経験などからくる思いや願ひ、アイデア等を総動員しつつ、協議体として学校・地域・保護者に働きかけながら、急がず少しずつ目指す姿に近づけていきたいと考えておりますので、ご協力の程どうぞよろしくお願ひいたします。



4 自己紹介

～ 略 ～ （CS委員及び事務局職員の自己紹介）

5 役員選出（座長 指導主事 渡辺 博樹） *以下敬称略

・会 長（ 矢吹 吉信 ）

・副会長（ 吉田 都 ） （ 舘下 愛理 ）

（ 浅和 博栄 ）

6 CS委員会新役員あいさつ

(矢吹会長) 只今会長を仰せつかりました矢吹でございます。伊藤前会長さんに素晴らしい雰囲気
のいいCSにつくりあげていただきました。継続し、さらに発展できるようにみなさんと
楽しくやっていきたいと思っておりますので、ご協力とご理解をいただければと思います。よろし
くお願いいたします。

(浅和副会長) 副会長として選出いた
だきました浅和と申します。私も
前回から引き続きということで3
年目になるわけですが、ベテラン
の矢吹会長を精一杯支えながら、
そして、まだ不慣れではあるの
ですが、皆さまのご協力をいただき
ながらやっていきたいと思いま
すのでよろしくお願いします。



(吉田副会長) 副会長を務めさせていただく吉田です。前回と同様なのですが、子ども
たちの教育のため会長を支えながら、地域と教育委員のみなさまと共に頑張っていきたいと思
いますので、今年もよろしくお願いいたします。

(館下副会長) 副会長を務めさせていただきます館下愛理です。今年から子どもも中学校を卒業
して、村の学校にはもう自分の子どもはいないのですが、それでも、少しでも関わっていけ
ればと思い、やらせていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

7 本日の日程、内容、進め方及び諸連絡について (進行)

- 本日の日程について
- ・要項の次第に沿って進める。

8 協議 (座長 CS会長：矢吹)

(1) 令和5年度おおたま学園コミュニティ・スクール委員会の方針・年間活動計画について <資料に基づき説明> (指導主事 渡邊)

① 理念についての再確認

- ・コミュニティ・スクールとは … 地域・家庭・学校の架け橋となるもの
- ・学校運営協議会の権限

② 令和5年度の重点について

- ・令和5年度は「地域学校協働本部事業（地域学校協働活動）」との関連を明らかにしながら、以下の項目を重点とする。

- 地域学校協働本部と連携・協働した教育活動を推進し、地域と共に歩む学校の実現、地域コミュニティの活性化等を目指す。
- コミュニティ・スクール委員会における熟議においては、各校・園の経営計画や現状、課題等を共有する機会を設け、学校・家庭・地域が一体となって教育活動を充実させるための取組を検討する。
- オープンスクール（おおたま学園主催の授業研究会）に、CS委員の皆様も参加し、各校園の学校運営協議会をその当日夕方に行う。熟議においては可能な限り児童・生徒も参加し、子どもたちの意見も取り入れるなど、子ども理解・学校理解のより一層の深まりとともに、それらに基づいた協議の活性化を目指す。
- 学校関係者評価を実施し、学校経営・運営の改善のサイクルがより有効に機能するようにする。
- 第5回おおたまコミュニティ広場（第15回大玉村教育フォーラム）は、保護者、村民の方々が年に1回集い、教育・子育てについて語り合う場として実施する。その際、保護者、村民が

できるだけ多く参加できるよう、呼びかけ・周知を図る。

なお、内容・方法については、CS委員会において協議する。限られた時間で協議が深まるよう組織・運営方法を工夫する。

- 学校が主体となって企画するおおたま・オータム・フェスタ（第5回）の運営に参画し、ねらいの達成に寄与する。
- 保護者・地域・住民の参画を促すための情報発信の方法を検討し、工夫を図る。

③ 令和5年度おおたま学園コミュニティ・スクール委員会活動計画（案）について説明

- 第1回役員会の日程については本日の会議終了後に決定する。
- 6、9、11月実施の各校・園主体の学校運営協議会は、オープンスクール（5校時の授業参観）と一緒にやる。そのため、午後から夕方にかけて開催する。（授業参観一事後研究会－学校運営協議会の午後半日の予定）
学校運営協議会には、学校・園の運営状況の説明が十分できる体制で臨む。
- 12月12日（火）第7回CS委員会の熟議では、おおたま・オータム・フェスタの反省を行う。
- 1月11日（木）第8回CS委員会で令和6年度各校・各園の学校運営方針（案）について熟議を行う。
- 2月17日（土）に第5回おおたまコミュニティ広場を行う予定。小・中学生の発表の場にもなっている。それを受けて、その後小グループによる熟議を行う。

（2）令和5年度地域学校協働活動事業計画（案）について（地域学校協働本部事務局）

＜資料に基づき説明＞

- ① 地域学校協働活動の目的 ② 地域学校協働活動事業実践の方向性
- ③ 組織（CS委員が地域教育協議会委員を兼ねる） … ①～③（田辺社会教育係長）
- ④ 地域との協働活動事業内容
 - ア 連携・協働活動Ⅰ（時崎主査）
 - ・学校支援ボランティアの基本理念「できる人が、できるときに、できることを 自らの意志で行う」
 - ・事前の打合わせは短時間でもいいので持つこと
 - イ 連携・協働活動Ⅱ（佐藤CN）
 - ・各校（園）が主体となる活動 ・地域行事への参画 等
 - ウ 放課後支援活動「放課後子ども教室」（中塚CN）
 - ・感染症対策（各教室毎に実施〈一班を35名までとする〉→ 玉井教室は2班編成）
 - エ 土曜日・長期休業中等の学習支援活動（佐藤CN）
 - ・中3生未来塾…15回実施（長期休業中＋2学期の土曜日）
 - ・小学生学び舎塾…学びのオアシス、子ども読書リーダー養成講座（夏季休業中）
 - オ 家庭教育支援活動（橋本CN）
 - ・相談活動 ・交流の場「お休みスペース」の設置 ・おはなし会、ブックスタート
 - ・広報活動『たまちゃんネル』

（座 長）ありがとうございました。初めての方にとってはちょっと難しいのかなとは思いますが、簡単に言うと、CSと地域学校協働活動は大玉の未来を担う子どもたちの応援団ということで活動しているというふうに感じておりますので、みなさん、どんどん前に出ていただいて、ボランティアとかいろいろな活動がありますので、そういった機会に参加していただければと思います。何かありましたら、この後の熟議とかいろいろありますので、その時に活発に意見を出してください。

それでは、「（3）各園・各校ごとの意見交流」ということで、4会場に分かれて実施しますのでよろしくお願いします。

～ 移 動 ～

(3) 各園・各校ごとの意見交換（4会場に分かれて実施）

- ① 各園・各校から（今年度重点的に取り組むこと、お願いしたいこと、その他）
 - ② 今後のCS委員会での協議内容について
- 幼稚園：1階多目的ホール
大山小：2階農事相談室
玉井小：2階農事研修室
大玉中：1階健康相談室



(4) 各園・各校からの報告 ※(3) ①②について

(座長) 熱心な熟議があつて予想通り時間が延びてしまいましたが、各園・各校からの報告ということで大玉中学校の久保寺校長先生からお願いします。

① 大玉中学校 (校長 久保寺 徹)

<今年度重点的に取り組むこと、お願いしたいこと、その他>

大玉中学校の今年度の学校経営・運営ビジョンをご覧になりながら話を聞いていただければと思います。熟議では、CS委員さんの話をお聞きしながら進めさせていただきました。

- 大玉中学校の教育目標は3つですが、まとめますと「意欲を持って学び、互いを認め合いながら自ら心身を鍛えること」です。学校経営の基本姿勢と目指す学校像を、

- ◆ 生徒も教師も誇りがもてる学校 → 「大玉プライド」
- ◆ 保護者や地域から応援され、共に歩む学校 → 「地域貢献」
- ◆ 情熱と使命感を持ち、生徒に寄り添う教師がいる学校 → 「学び続ける学校」

としました。前年度まで3つめは、「虹のような学校組織」となっていました。今年度10名の先生方（全教員の半数）が入れ替わり、昨年度の転入者もいれますと約8割の教員が2年間で替わっています。まず先生方が大玉のよさや子どもたちのよさを知ってから大玉中を築いていくという思いがあり変更しています。

- 令和5年度の重点事項は、「知…学力」「徳…心」「体…身体」ということで挙げられています。「体」の所で「望ましい生活習慣の確立に向けた健康マネジメント力の育成と体力向上に取り組めます」とあります。昨年度は「健康的な生活習慣」という言葉を使っていましたが、

それが「望ましい生活習慣」というふうには直されています。「健康的な生活習慣」からさらによりよい生活習慣を目指すために「望ましい生活習慣」と変更しました。

その内容についてもいろいろとあがっているのですが、「肥満率低下に向けた指導・支援」を課題としてあげました。

私が8年ぶりに大玉中に赴任したという話を先程したのですが、伝統的に大玉中学校の生徒は体格がいいと感じていました。全体的に言えることですが、男女ともに他校生に比べて身長が高く、がっちりとしているという印象でした。ただ、肥満率がやや高いという点は今後の課題としてあげられると考えます。この点については福島県全体の課題でもあり、運動をする子としない子に分かれ二極化現象になっているのが現状です。それだけが理由であれば、学校だけでも何とか対応できるのですが、食が関わってくると難しいと感じます。先程の熟議の中でも保護者に啓発する方法はないだろうか、栄養士さんをよんで親子一緒に話を聞くとか方法はできないだろうかということ等を話題として話し合いました。体力向上ももちろんですが、肥満率を下げられるよう努力していきたいと思います。

- 「社会に開かれた教育課程を実現し、地域と共に歩む学校づくりに努める」とあります。先程申しましたように、教員ががらっと変わっておりますので、改めて教員がCSを含めたおおたま学園の取り組みを理解して、幼・小・中の連携のスタイルを生かすとか、地域人材の活用機会を生かすとかして、（県内で子どもの割合が最も高い大玉村の）子どもたちの育ちをコーディネートする一端を担う学校づくりをしていきたいと思っています。



② 大山小学校 （校長 齋藤 和久）

<今年度重点的に取り組むこと、お願いしたいこと、その他>

大山小学校の教育目標は「めざせ！夢に向かってがんばる子」です。私は、本校のこの目標が大好きで、集会のたびに子どもたちに「この目標に向かって頑張ろう。」と話しているところ です。

3本柱があるのですが、大玉中、玉井小と本校が違うのはこの柱の順序です。左側から「徳」、「体」、「知」順になっています。これは、前任の舘脇校長先生が変えられたことだったのですが、私もこの順番に納得しているので今年度もこのような形で作成しています。勉強はもちろん一番大事なことはあるのですが、心が落ち着いて、友だちと楽しく生活することができれば、自然と勉強するやる気が出て、成績も上がっていくということで、まずは心の教育が一番大事だというスタンスで今年も大山小学校は進めていきたいと考えています。

『なかよく助け合う子』

○ 心によりそう教育の充実

「ア あいさつ運動に力を入れて取り組む。」

→ 「されて嬉しいあいさつ」から「して嬉しいあいさつ」へ質を向上させたいと思います。

「ウ 行事等を通して子どものよさを伸ばし、教育活動全体で道徳性を育成」

→ 昨年度から職員にずっと言ってきたことです。毎日の勉強は大事なのですが、勉強が苦手な子もあり、行事で新たな一面を見つけたりとかよさを伸ばしたりして、子どもたちが自信をつけて学校生活を送ってくれたらいいなと思っています。ぜひ行事で子どもたちのよさを伸ばしてほしいと先生方にもお願いしているところです。

『健やかでたくましい子』

○ 健康・安全教育の充実

「ウ マスク着用など新型コロナウイルス感染症への対策について自己判断できる能力の育成」 → 5類に引き下げられたわけですが、とにかくいろんなことを自己判断できる能力が今求められています。これが小学生できちんと身につくかどうかは別ですが、こうい

った気持ちや視点を持って社会の中で生きていくということが大事なんだということを子どもたちに伝え、少しでもそういう意識をもたせて中学校に送り出せるようにと考えています。

『進んで学習する子』

○ 「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業づくり

「ア 教師自身がわくわくするような授業構想」

→ 進んで学習する子を育てるには、まずは私たち教員が意欲を持って前向きにわくわくするような授業を考えて教壇に立つことが大事だと思っています。こういった授業構想を学校の中だけで作るのは難しいので、働き方改革も併せて先生方にはなるべく余計な仕事はカットして、家庭で過ごす時間を充実させてほしいと思っています。そして、いろんな所に出かけて行って、いろんな人と出会って、見たり聞いたり食べたりして、「これを子どもたちに伝えたい」とか「子どもたちにこれを知ってほしい」、「一緒に感動したい」という思いを持って学校に来てほしいですし、子どもたちと一緒に盛り上がる授業を実践してほしいと思っています。

○ 学びを支える学習基盤づくり

「イ 図書室の利用や家読を通して本に親しませ、読書活動の楽しさを享受」

→ 学校では図書室の利用について促していますが、家庭で全然本にふれないところもあるという話を聞きます。（どうしてもスマホやタブレットに頼るような時代ですが…）やはり学校だけで本に親しませようとするのは難しいところがあるので、何かをきっかけに一緒に本を読む時間を設けるとか、一冊の本について家族で語り合えるような場が持てたらいいと思うので、保護者への啓発を含めて取り組んでいきたいと思っています。

いろいろとお話ししましたが、トータルで言うと、今年度の大山小学校が目指したいところは、「他者との関わり」に力を入れて取り組んでいくことです。「社会の中でうまくコミュニケーションをとりながら、豊かな人生をつくってほしい」そんなふうに育てていきたいと思っていますのでよろしくお願いします。



<今後のCS委員会での協議内容について>

○ 子どもたちのCS委員会への参加について

大山小のオープンスクールが11月あるのですが、夕方遅い時間になってしまうので難しいと思っています。CS委員さんからのご意見なのですが、例えば子どもでなくて保護者の参加ではどうかということがありました。CS委員会が何なのかということをご存知ない保護者の方もいらっしゃるし、CS委員会に参加してもらって、学校のあり方とか望むこととかいろんなテーマについて話し合うのもいいのではないかなという意見も出ました。（テーマについては、例えば事前に子どもたちにアンケートをとっておいて、そこで出た意見をもとにしながら話し合いをする等。）そんな方法も考えながら11月のCS委員会を迎えたいと思っています。

CS委員の皆さんにはいろいろ頑張れと励ましの言葉をいただいたので、今年もいろんな地域に出て行って、大山の子たちの活躍を見られるように頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いします。

③ 玉井小学校 （校長 佐藤 則之）

<今年度重点的に取り組むこと、お願いしたいこと、その他>

学校運営ビジョンに今年の漢字を示しています。これは、保護者にアンケートをとって決めたもので、「今年はこの漢字を掲げて子どもたちも保護者も先生も頑張っていきましょう」というのがこの「挑」という漢字です。去年は「進」だったのですが、私は去年赴任したば

かりで今一意識が不足していたことを反省しています。今年は、やはり子どもたち、そして保護者の方々が選んでくださったこの漢字を大事にしていきたいと思います。道しるべのようなものとして、子どもたちも私たち教職員も保護者の皆さんも進んでいければと思っています。



『自ら学ぶ子ども』

○ 基礎的な学力の向上

「自己マネジメントカードを活用した家庭学習、読書の望ましい習慣の育成と家庭との連携の工夫」

→ 子どもたちが、自分の家庭学習を自分で決めてやっていく機会を意図的につくっていきます。本校の日課表を見ていただきたいのですが、毎週木曜日の昼休み後にチャレンジタイムがあります。このチャレンジタイムで子どもたちが何をするかと言いますと、自分の家庭学習で何をするか決める時間になっています。担任から提案する学年もありますし、高学年にあれば自分はこれをこんなふうにと決めて週末の自主学習に取り組むというような形です。ですから、基本的には週末をチャレンジデーと位置づけて、担任からは宿題は出しません。子どもたちが自分で決めてやるそういう日にしたいと思っています。(本校の今年が目玉)

＜今後のＣＳ委員会での協議内容について＞

- 先程大山小学校からも話が出たのですが、オープンスクールの時の子どもの参加をどうするのかということがありました。玉井小はあと１ヶ月後なのですが、案とか子どもたちの意見が反映されるような熟議にしたいと考えています。その前に越えなくてはならないハードルがあります。昨年の熟議のテーマは大人だから話し合えたのですが、子どもたちが参加して「私はこう思う」と言えるようなテーマを設定することが一つのハードルであると考えています。
- この時間（ＣＳ委員会の時間）まで小学生を残しておくことは無理だと思います。それでＣＳ委員の方々からアドバイスいただいたのは、１日の時程を今までと変えられないだろうか、子どもたちとの熟議の時間を前に持ってこられないか等のご意見をいただきました。要検討かなと思っていますので、お知恵をお借りしたいなと思っています。

④ 大山幼稚園 （副園長 二瓶 博子）

大山幼稚園は、玉井幼稚園と一緒に熟議を行いました。もっとたくさん意見をお聞きしたかったのですが、時間があまりなくあまりできませんでした。次回以降のＣＳ委員会に期待したいと思います。

＜今年度重点的に取り組むこと、お願いしたいこと、その他＞

大山幼稚園の教育目標は、大山小学校と同じで「めざせ！夢に向かってがんばる子」で、今年度も遊びを通してたくさんのことを学べるように、子ども一人一人に寄り添いながら「めざす幼児像」に向かって保育を充実させていきたいと考えています。



『自ら進んで意欲的に遊ぶ子の育成』

○ 考える力・表現する力の育成

「エ 絵本や物語に親しむ環境の工夫」

→ 絵本の貸し出しとか読み聞かせとかが大事で効果的であるので新たに加えました。(昨年度の反省から)

『身近な人とかかわろうとする子の育成』

○ 社会性を学んでいく場の設定

「イ トラブルや葛藤体験を通して、相手の気持ちを考える

場面の工夫」、「エ 互いを認め合うクラス・集団づくり（思いやりの心）」

→ 友だち同士の関わり合いが少し薄くなってきており、けんか等も少なくなり、人との関わり方を獲得できなかった子が多くなっているように感じていました。今年は、子どもたちのトラブルに向き合って、それを大切にしていけるようにと考えました。

『心も体も健康な子の育成』

○ 健康で安全な生活をする力の育成

「イ 安全教育の具体的指導・危険回避能力の獲得」

→ 安全な幼稚園が大事ということで、今年は「バスチェック表」、「Jアラートの避難の仕方」、「虐待防止チェックリスト」等を作成し、教育計画に入れ活用していくことで、幼児の事故防止に努めていきたいと考えております。

昨年度まではコロナ禍だったのですが、本年度は制限が緩和され、4月にはPTA総会や保育参観を全学年で行うことができました。幼稚園で誕生会等を遊戯室に全学年集まって行うことができ、先生方との話し合いの中でも、「やはり縦の繋がりが大切だ」ということを再確認しています。今後活動や交流の場を広げ、縦の繋がり、3年保育のよさを十分に生かしていきたいと考えています。

これらを踏まえ、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」の二重丸の部分（「道徳性・規範意識の芽生え」、「思考力の芽生え」、「言葉による伝え合い」）が重点事項になっています。地域の方々との活動、シャボン玉づくりのように試行錯誤していく遊び、友だちの前で発表する場の工夫等、そういったことを行いながら、重点事項についての力をつけさせていきたいと考えております。

幼稚園を見に来ていただいて、外から見た感想やご意見等たくさんお聞きしたいと思っています。残念ながら、今年度は大山小学校のオープンスクールの時に幼稚園の保育参観はありませんが、6月29日（木）に両幼稚園の公開保育を行いますので、もしご都合がつくのであれば、子どもたちの元気な姿を見においでいただき、ご意見等いただけましたらありがたいです。

⑤ 玉井幼稚園 （副園長 後藤 弥和子）

<今年度重点的に取り組むこと、お願いしたいこと、その他>

玉井幼稚園の教育目標は玉井小学校と同じで「自分やふるさとに誇りをもち、夢や希望に向かう子ども」です。今年度力を入れたいところをお話しします。

『自ら考える子ども』

○ 主体的に活動する意欲の育成

「④ 幼児の発見や考えのよさを見逃さず取り上げ、他の幼児の活動に広め、生かす工夫」

→ 教師自身が積極的に関わっていきます。

○ 遊びを想像しようとする意欲の育成

「① 考えたり、分かったりすること（見つける・比べる・例える・試す・工夫する）の楽しさや喜びを十分に体験できる活動の充実」

→ 学びの目を大切にしていきます。



『心豊かな子ども』、『たくましい子ども』

それぞれについては、子どもたちの様子を見、先生たちと話し合いをしながら大事に育てていきたいと考えています。また、豊かな体験活動や直接体験、交流活動、異学年との交流、それから小学校との交流等々も大事にしながら、地域の方々のご協力をいただいて、みなさんと一緒に育てていければいいのかなと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

(5) 全体共有

(座 長) ありがとうございました。全体共有ということで、今の報告を受けて確認しておきたいことや共通理解を図りたいこと等あれば出していただきたいと思います。

今年度より新しく委員になられた方は初めてのことが多くて、今回の内容も盛りだくさんで、熟議の時間が足りなくてもっとお話しできればよかったのでしょうけど…。

大丈夫でしょうか。

(C S 委員) ～ 意見等がない様子～

(座 長) それでは協議を終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。

9 連絡事項

(進行)

(1) おおたま・オータム・フェスタについて

資料に基づき概要説明

- ・ 昨年度3年ぶりに実施
- ・ こういった活動にC S 委員も組織に入り活動することになっている。(各部の副部長、部員)
- ・ C S 委員の所属希望書の提出 (第3希望まで記入して、本日中に提出してほしい)

(2) その他

特になし

10 閉会の言葉

おおたま学園C S 委員会副会長 吉田 都

皆さまお疲れ様でした。以上をもちまして令和5年度第1回おおたま学園C S 委員会を終了します。本年度も1年間よろしくお願いします

